

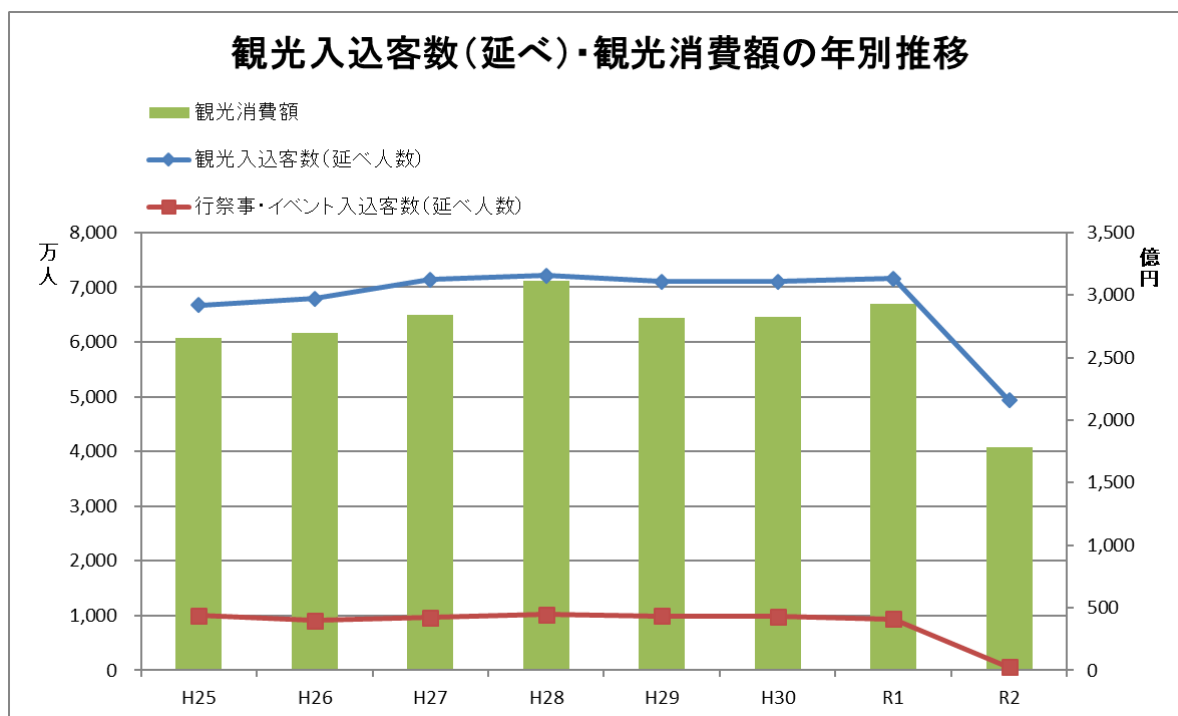
令和2年岐阜県観光入込客統計調査



令和3年12月

岐阜県観光国際局観光企画課

1 観光入込客数（延べ）・観光消費額



区 分		R 2 [2020]年 (対前年比)	参考：R 1 [2019]年
観光入込客数（延べ人数）		4, 9 3 5 万 7 千人 (△31.1%)	7, 1 6 2 万 人 8 千人
行祭事・イベント入込客数（延べ人数）		5 7 万 7 千人 (△93.8%)	9 3 4 万 4 千人
観光消費額	全 体	1, 7 8 4 億 5 1 百万円 (△39.2%)	2, 9 3 2 億 8 3 百万円
	日帰り客	9 5 0 億 9 4 百万円 (△34.9%)	1, 4 6 1 億 3 3 百万円
	宿 泊 客	8 3 3 億 5 6 百万円 (△43.4%)	1, 4 7 1 億 5 0 百万円

※千人未満を四捨五入しているため、対前年比に誤差が生じることや、内訳の計と合計が一致しないことがある。

- **観光入込客数（延べ人数）**は、4, 9 3 5 万 7 千人 (対前年比△31.1%) となり、前年に比べ減少した。
- **行祭事・イベント入込客数（延べ人数）**は、5 7 万 7 千人(対前年比△93.8%)となり、前年に比べ減少した。
- **観光入込客数（実人数）**は、3, 4 5 1 万 1 千人 (対前年比△28.1%) と、前年に比べ減少した。(4頁参照)
- **観光消費額**の総額は1, 7 8 4 億 5 1 百万円 (対前年比△39.2%) で、うち日帰り客分は9 5 0 億 9 4 百万円 (対前年比△34.9%)、宿泊客分は8 3 3 億 5 6 百万円 (対前年比△43.4%) であった。

○ **主な傾向**は、以下のとおり。

- ・令和2年は新型コロナウイルス感染症の影響により、観光入込客数（延べ人数）、行祭事・イベント入込客数（延べ人数）、観光消費額がそれぞれ大幅に減少した。
- ・昨年、過去最高を記録した外国人延べ宿泊者数は、前年と比べ82.6%減少となった。（166.0万人→29.0万人）
- ・一人当たりの平均消費額は、日帰り客分、宿泊客分ともに減少した。

日帰り：	3,494円	→	3,073円	（対前年比△12.0%）
宿泊客：	23,830円	→	23,394円	（対前年比△1.8%）

2 観光地点別の集客数（県内トップ10）

（単位：万人）

順位	観光地点名	入込客数	参考：R1[2019]年	
			順位	入込客数
1	土岐プレミアム・アウトレット	510.8	1	668.3
2	河川環境楽園（アクア・トトぎふ含む）（各務原市）	291.1	2	477.5
3	高山市街地エリア	159.8	3	382.7
4	湯の華アイランド（可児市）	143.5	5	168.5
5	伊奈波神社（岐阜市）	138.2	7	147.5
6	千代保稲荷神社（海津市）	128.6	6	160.6
7	千本松原・国営木曾三川公園（海津市）	99.4	9	136.4
8	岐阜公園	80.1	11	102.2
9	下呂温泉（旅館の宿泊利用及び日帰り利用）	72.1	10	122.5
10	白川郷合掌造り集落	67.0	4	203.1

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、「土岐プレミアム・アウトレット」は23.6%減、「河川環境楽園（アクア・トトぎふを含む）」は39.0%減、「高山市街地エリア」は58.2%減となるなど、県内の主要観光地点における観光入込客数（延べ人数）は軒並み減少となった。
- また、令和2年7月豪雨災害の影響による主要道路の通行止めについても、観光入込客数（延べ人数）の減少の一要因となった。

3 行祭事・イベント入込客数（県内トップ10）

（単位：万人）

順位	行祭事・イベント名	入込客数	参考：R1[2019]年	
			順位	入込客数
1	花火物語（下呂市）	11.3	49	4.7
2	チューリップ祭（海津市）	8.8	10	20.6
3	十日市（中津川市）	5.8	38	5.8
4	いでゆ朝市（下呂市）	5.4	25	9.2
5	七日市（恵那市）	5.0	46	5.0
6	城下町大垣イルミネーション	3.4	60	3.5
7	元気ハツラツ市（大垣市）	2.9	8	28.5
8	安八梅まつり	2.5	43	5.3
9	あかりの町並み美濃	2.2	76	2.8
10	六斎市（中津川市）	1.7	47	5.0

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、ほとんどの行祭事・イベントが中止となった。

4 経済波及効果（試算）

令和2年の県内観光消費による経済波及効果（観光関連産業の経済波及効果）を試算したところ、生産誘発額は2,601億21百万円、就業誘発効果は、22,868人となった。

<参考> 旅行者分類別データ

県内観光客の動向をより詳細に分析するため、観光入込客数を実人数に換算し、旅行者分類別、県内圏域別の入込客数、外国人宿泊客数等を算出した。

※詳細は、別添「参考表」参照

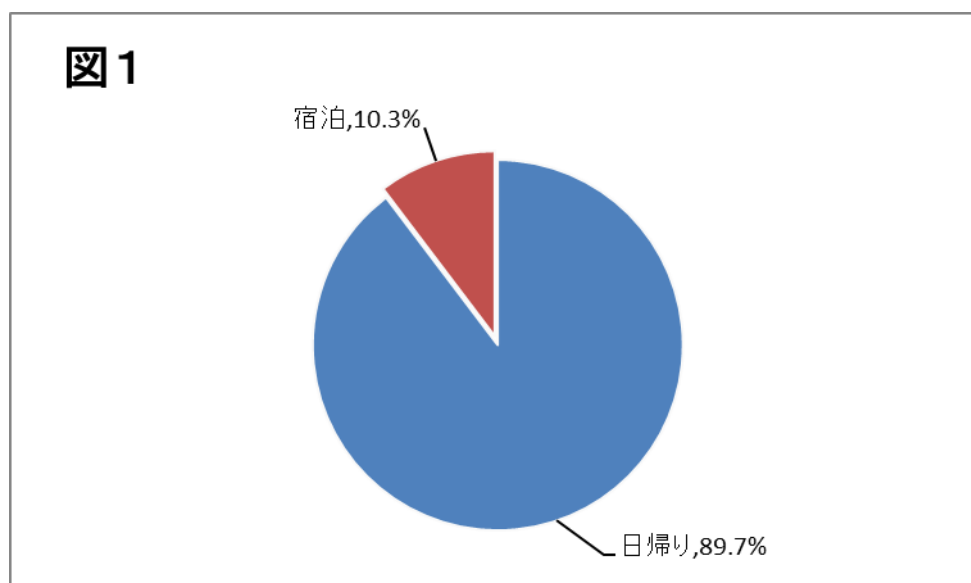
※千人未満を四捨五入しているため、対前年比に誤差が生じることや、内訳の計と合計が一致しないことがある。

(1) 日帰り・宿泊別観光入込客数

<観光入込客数（実人数）>

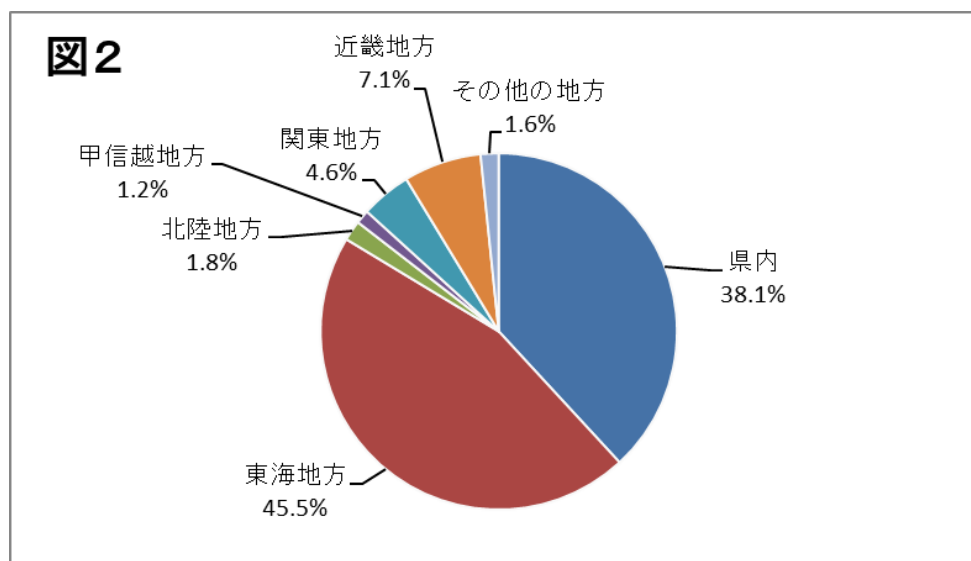
区 分	R 2 [2020]年 (対前年比)	参考：R 1 [2019]年
全 体	3, 4 5 1万 1千人 (△28.1%)	4, 7 9 9万 5千人
日帰り客	3, 0 9 4万 8千人 (△26.0%)	4, 1 8 2万人
宿 泊 客 【うち外国人】	3 5 6万 3千人 (△42.3%) 【 1 3万 2千人 (△88.7%)】	6 1 7万 5千人 【 1 1 6万 7千人】

※宿泊客の「うち外国人」については、観光庁の宿泊旅行統計調査における本県の外国人延べ宿泊者数をもとに算出している。(令和2年外国人延べ宿泊者数 29.0万人)



令和2年の観光入込客数（実人数）は3, 5 4 1万 1千人であり、日帰り・宿泊別にみると、日帰り客は3, 0 9 4万 8千人、宿泊客は3 5 6万 3千人であり、依然として日帰り客が多い。(図1)

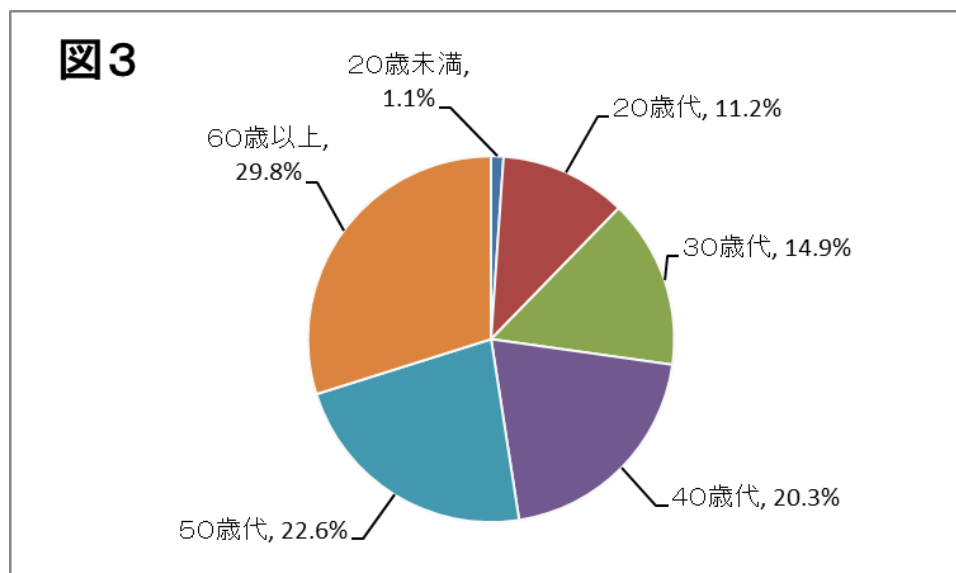
(2) 居住地別観光入込客数



居住地別に見ると、県全体では県内客は1,316万4千人（構成比38.1%）、県外客は2,134万7千人（構成比61.9%）と、県外客が多くを占めた。

県外客のうちおおよそ7割が東海地方からの観光客であり、以下近畿地方、関東地方と続いている。（図2）

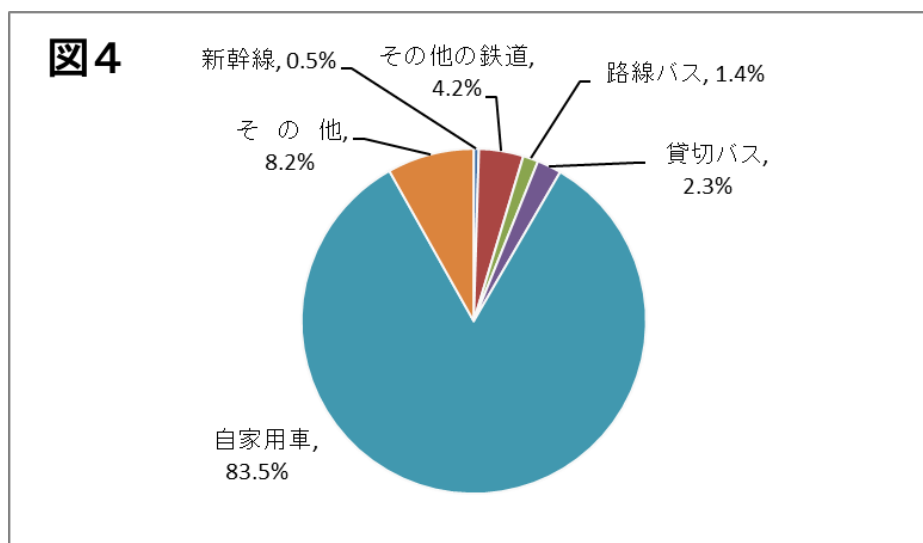
(3) 年齢別・男女別観光入込客数



年齢別では、60歳以上が29.8%と最も多く、続いて50歳代、40歳代、30歳代とつづく。（図3）

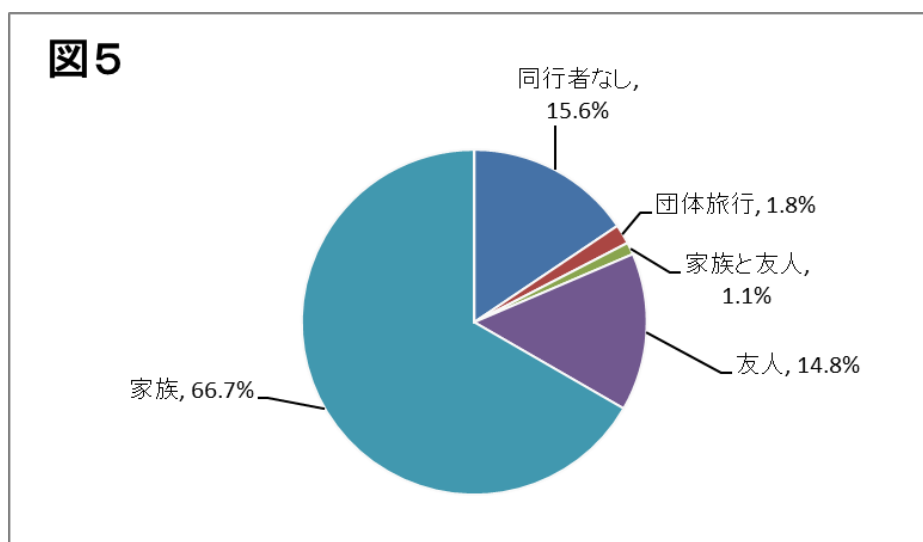
なお、男女別で見ると、男性が2,100万4千人（構成比60.9%）、女性は1,350万7千人（構成比39.1%）と男性が多かった。

(4) 利用交通機関別観光入込客数



利用交通機関別に見ると、自家用車が最も多く全体の 83.5%を占め、鉄道や路線バスなどの公共交通機関の割合は低い。(図4)

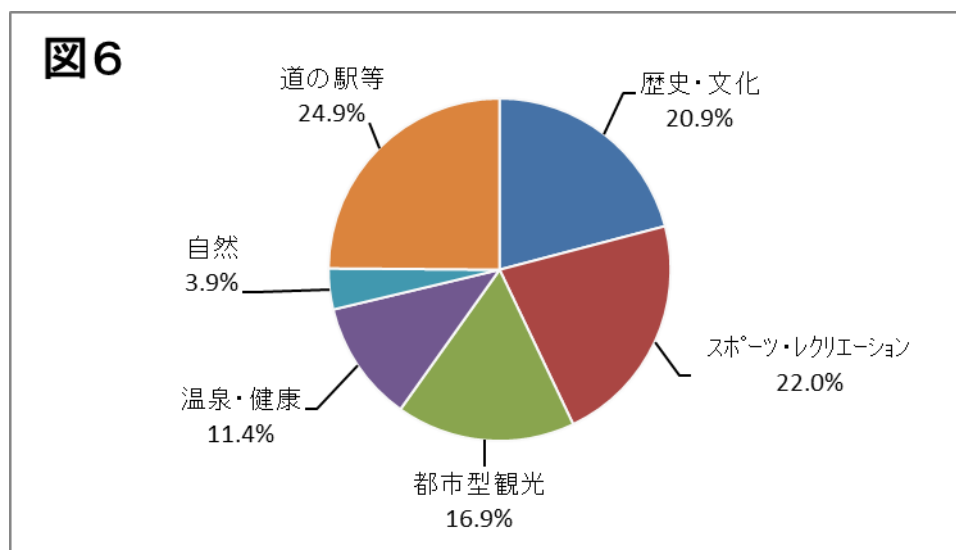
(5) 同行者別観光入込客数



同行者別に見ると、「団体旅行」の割合は全体の 1.8%にとどまり、「家族」が 66.7%と最も多く、次いで「同行者なし」が 15.6%と個人旅行が主流となっている。(図5)

なお、同行者人数別に見ると、「(本人を含め) 2～3人」が最も多く全体の 68.2%を占め、続いて「(本人を含め) 4～5人」が 13.3%であった。

(6) 観光地分類別観光入込客数



観光地分類別に見ると、「道の駅等」、「スポーツ・レクリエーション」、「歴史・文化」の順に多く、以下、「都市型観光」、「温泉・健康」、「自然」と続く。(図6)

※観光地の分類方法については、次頁<調査の概要>参照

○ 平均訪問地点数と平均宿泊数

1人当たり平均訪問地点数（「観光地点入込客数（延べ人数）」を「観光入込客数（実人数）」で除したものは、**1.4地点（▲0.1地点）**で、四半期別に見ると、1～3月が1.6地点（+0.1地点）、4～6月が1.3地点（▲0.2地点）、7～9月が1.4地点（±0.0地点）、10～12月が1.4地点（▲0.1地点）であった。

また、**同一施設における1人当たり平均宿泊数**（「宿泊客数（延べ人数）」を「宿泊客数（実人数）」で除したものは、**1.3泊（+0.1泊）**で、四半期別に見ると、1～3月が1.3泊（+0.2泊）、4～6月が1.6泊（+0.3）、7～9月が1.3泊（+0.1泊）、10～12月が1.1泊（▲0.1泊）であった。

<調査の概要>

本調査は、観光庁が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」(平成25年3月改定)に基づき、実施したものである。

1. 調査期間

令和2年1月1日から令和2年12月31日まで

2. 調査対象観光地点等

①観光地点の定義

- ・非日常利用が多いと判断される地点。
- ・観光入込客数が適切に把握できる地点。
- ・前年の観光入込客数が年間1万人以上、若しくは前年の特定月の観光入込客数が5千人以上である地点。

②観光地点等の分類

観光地点等の分類は以下の区分による。

■観光地点	
自然	山岳、高原、湖沼、河川、海岸、海中、島、その他自然(エコツーリズム、グリーンツーリズム等)
歴史・文化	史跡、城、神社・仏閣、庭園、歴史的まち並み、旧街道、博物館、美術館、記念・資料館、動・植物園、水族館、産業観光、歴史的建造物、その他歴史
温泉・健康	温泉地、その他温泉・健康
スポーツ・レクリエーション	スポーツ・レクリエーション施設、スキー場、キャンプ場、釣り場、海水浴場、マリナー・ヨットハーバー、公園、レジャーランド・遊園地、テーマパーク、その他スポーツ・レクリエーション
都市型観光 一貫物・食等	商業施設、地区・商店街、食・グルメ、その他都市型観光一貫物・食等(農水産品の直売所、物産館等)
道の駅等	他に分類されない観光地点(道の駅、パーキングエリア等)
■行祭事・イベント	行・祭事、花見、初詣、花火大会、郷土芸能、地域風俗、博覧会、コンサート、スポーツ観戦、映画祭、コンベンション・国際会議、他に分類されない行祭事・イベント

3. 調査プロセス

(1) 観光地点等入込客数調査

統計の基礎となる観光地点等ごとの入込客数（延べ人数）を把握する。

(2) 観光地点パラメータ調査

県内の20観光地点を訪れた観光客を対象に調査を行い、属性別の構成比、平均訪問地点数、平均消費額単価などのパラメータを算出する。

(3) 観光入込客数（実人数）・観光消費額単価・観光消費額の推計

上記（1）、（2）及び観光庁より提供される以下のデータを用いて推計する。

- ・観光目的別・居住地別の宿泊観光入込客数
- ・ビジネス目的・県外の日帰り観光入込客数
- ・観光目的別・宿泊／日帰り別の訪日外国人の観光消費額単価
- ・ビジネス目的・宿泊／日帰り別、県内／県外別の観光消費額単価
- ・観光／ビジネス別、県内／県外別実家・キャンプ場等利用補正係数